

## 令和元年度感染制御専門薬剤師試験 出題基準と範囲

1. 感染制御関連の薬剤師認定および法律
  - 1) 感染制御薬剤師制度について説明ができる。
  - 2) 医療関連感染制御の変遷を説明できる。
  - 3) 感染制御に関わる法制度を理解している。
2. 微生物の基礎知識
  - 1) 微生物(細菌、真菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス)の概要を説明ができる。
  - 2) 病院・施設内感染に関連する主要微生物について説明ができる。
  - 3) 感染症法の類別感染症と原因微生物について説明できる。
3. 留意すべき細菌感染症の基礎知識
  - 1) 細菌感染症とその対策について説明ができる。
  - 2) 薬剤耐性菌感染症について説明ができる。
4. 留意すべき真菌感染症の基礎知識
  - 1) 真菌感染症その対策について説明ができる。
5. 留意すべきウイルス感染症の基礎知識
  - 1) ウイルスの形態、特徴、分類が説明できる。
6. 新興・再興感染症
  - 1) 新興・再興感染症について説明ができる。
  - 2) 耐性菌による感染症について説明ができる。
7. 抗菌薬の基礎知識
  - 1)  $\beta$ -ラクタム薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
  - 2)  $\beta$ -ラクタム薬以外の抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
  - 3) 合成抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
8. 抗真菌薬の基礎知識
  - 1) 抗真菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
9. 抗ウイルス薬の基礎知識
  - 1) 抗ウイルス薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
10. 薬剤耐性菌の基礎知識

- 1) 抗菌薬耐性機構を説明できる。
  - 2) 話題の耐性菌を説明できる。
11. 感染症とワクチン
- 1) ワクチンの種類を説明できる。
  - 2) ワクチンの接種方法、接種量を説明できる。
  - 3) ワクチンの保管、有効期限を説明できる。
12. 感染症と臨床検査
- 1) 微生物検査を理解している。
  - 2) 主な感染症の検査を説明できる。
13. 抗菌薬の適正使用
- 1) 抗菌薬投与前に把握しておくべき患者状態について理解している。
  - 2) 初期治療における抗菌薬の選択について説明ができる。
  - 3) 治療効果の判定と抗菌薬の見直しについて説明ができる。
  - 4) 感染予防としての抗菌薬の投与について説明ができる。
  - 5) PK-PD 理論を理解して説明ができる。
  - 6) TDM が必要な薬剤を説明できる。
  - 7) 薬物動態に基づいた投与設計を理解している。
  - 8) 抗 MRSA 薬およびポリコナゾールの TDM について説明ができる。
14. 抗菌薬の使用上の留意点
- 1) 抗菌薬化学療法の原則について説明ができる。
  - 2) 抗菌薬の投与方法、投与量、投与期間について説明ができる。
  - 3) 腎障害、肝障害時の投与方法について説明ができる。
  - 4) 小児、高齢者、妊婦への投与の留意点について説明ができる。
  - 5) 抗菌薬の安全性、特徴的副作用について説明ができる。
  - 6) 抗菌薬の主な相互作用について説明ができる。
  - 7) 腎障害時における抗菌薬の適正使用が説明できる。
15. 感染症の予防とその治療
- 1) 感染症の予防と治療の基本を理解している。
  - 2) 敗血症の原因、疫学、診断、治療、予防などを説明できる。
  - 3) 好中球減少症の定義、原因、診断、治療を説明できる。
  - 4) 肺炎の病態、診断、原因微生物、予防、治療などを説明できる。
  - 5) インフルエンザの診断、予防、治療などを説明できる。

- 6) 結核の予防、治療を説明できる。
  - 7) 腸管感染症の病原体、治療、予防などを説明できる。
  - 8) 尿路感染症とカテーテル管理について説明できる。
  - 9) 尿路感染と緑膿菌の関連を説明できる。
  - 10) 複雑性尿路感染症について原因、薬剤選択を説明できる。
  - 11) 性感染症の診断と治療が説明できる。
  - 12) HIV の感染経路について説明ができる。
  - 13) 標準予防策と針刺し事故防止対策について説明ができる。
  - 14) HIV 暴露後の予防対策について説明ができる。
  - 15) HIV の病院感染対策について説明ができる。
  - 16) ウイルス性肝炎の疫学、診断、治療、予防などを説明できる。
  - 17) カンジダ症の病態、診断、治療、予防などを説明できる。
  - 18) 疥癬の生態、症状、診断、治療、予防を説明できる。
  - 19) 手術部位感染症の予防を説明できる。
  - 20) 小児における発疹性疾患の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
  - 21) 小児における呼吸器および消化器感染症の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
  - 22) その他の小児期感染症の症候、微生物、診断治療を説明できる。
16. エビデンスに基づいた感染対策
- 1) 標準予防策と感染経路別予防対策が説明できる。
  - 2) 手指衛生について説明ができる。
  - 3) 血管内留置カテーテル感染対策について説明できる。
  - 4) 尿路留置カテーテル感染対策について説明ができる。
  - 5) 手術部位感染防止 (SSI) について説明ができる。
  - 6) 病院環境整備と環境微生物調査について説明ができる。
  - 7) 医療器材の洗浄と滅菌方法について説明ができる。
  - 8) エビデンスが明らかでない感染対策について説明ができる。
17. 感染制御とガイドライン
- 1) CDC のガイドラインについて説明できる。
18. サーベイランスとアウトブレイクへの対応
- 1) サーベイランスの定義、構成者、流れを説明できる。
  - 2) サーベイランス・システムの構築、評価を説明できる。

3) 疫学調査を説明できる。

#### 19. 洗浄・滅菌の実際

1) 洗浄の目的、作用、方法を説明できる。

2) 滅菌法の種類、特徴、方法を説明できる。

3) 滅菌の確認手段を説明できる。

#### 20. 消毒薬の適正使用

1) 生体消毒薬の種類、特徴、使用濃度を説明できる。

2) 器材・環境に対する消毒薬の使い分け、消毒法を説明できる。

3) 消毒方法を説明できる。

4) 消毒薬の留意点を説明できる。

5) 消毒薬を誤使用時の症状と対応を説明できる。

#### 21. 注射薬の無菌調製

1) 投与リスク分類を説明できる。

2) 汚染リスク別に該当する注射薬の調製を説明できる。

3) 米国における輸液調製ガイドラインを説明できる。

#### 22. 医療廃棄物

1) 医療廃棄物の分類を説明できる。

2) 感染性廃棄物、非感染性廃棄物の処理法、現状を説明できる。

3) 在宅医療廃棄物の取り扱いを説明できる。

#### 23. 感染対策の経済性

1) 品質管理のためのフレームワークを説明できる。

2) 経済性の評価方法を説明できる。

3) 病院感染発生による増分原価を説明できる。

4) 感染対策への投資と効果を説明できる。

#### 24. 病院感染対策のネットワーク化

1) ネットワーク構築の重要性を説明できる。

2) ネットワーク化の活動内容を説明できる。

#### 25. 薬剤師の役割

1) ICC と ICT の構成員と役割を説明できる。

2) ICT の業務を説明できる。

3) ICT における薬剤師の役割を説明できる。

#### 参考図書

1. 薬剤師のための感染制御マニュアル第4版 日本病院薬剤師会編
2. 抗菌薬使用ガイドライン 日本感染症学会・日本化学療法学会編
3. 消毒と滅菌のガイドライン 小林寛伊編
4. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 日本化学療法学会編
5. 各種CDCガイドラインなど